

「今、私の晴雨計は！④」

「朱鷺はこうして再び

佐渡の空に舞つた」

平山征夫

中国から第一回日中韓「朱鷺国

際フォーラム」を開催するので知事時代の日中朱鷺交流の基調報告をしてほしいという招待が来て5月下旬出席してきた。そのフォーラムでの私が行つた基調報告は、本県の朱鷺保護の歴史として残しておかなければならぬのだが、環境庁との関係でこれまで公表してこなかつた。もう時効だらうと思い、むしろ良い機会なので絶滅の危機からの脱出の真実と、朱鷺に掛けた私の想いなどを語るため出席した。

この国際フォーラム」は、5月22日23日、陝西省漢中市の朱鷺の故郷「洋県」で開かれた。日中韓三か国で朱鷺保護増殖に関係している人たちが初めて一堂に会した。昨年10月、西安で開催される予定だったのが、共産党大会とダブリ延期された。国際フォーラムが党大会の日程で延期されるのかとその時は思つたが、今回参考に「朱鷺賞」を受賞したのも嬉しかつた。県内では私が知事時代朱鷺で大変苦労したことなど殆ど忘れられているのに…。

加して陝西省人民政府の力の入力など見て、これは西安を中心とする「大西部開拓」や、ここを出発地とする「新たなシルクロード」一帯一路」推進の大きな流れの中のイベントだと感じた。

そのイベントに知事を退任して13年以上も経つた私を招待してきたことに驚いたが、「井戸を

掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に

掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に

掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に

掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に掘つた人を大事にする」という中國の伝統に依つたのだろうか？じ年、中国では絶滅したと思われていた朱鷺が「二洋県で七羽発見されました。その後両国は朱鷺には私が知事時代一緒に保護活動した人が何人かおられ、私のことを覚えていてくれた。今回一緒に

す。キンは幼くして人に保護され育てられ順応性が高く、一般的な朱鷺の寿命を超えて生きていましたが、既に繁殖の可能性は殆どありませんでした。日本生まれの朱鷺による繁殖が不可能になつた以上、中国生まれのペアによる佐渡での人工繁殖しかありません。私が静かに余生を送るキンに逢つた時、人間なら一〇〇歳近い高齢ながら、ゲージの奥から出てきて元気な姿を見せてくれました。その姿を見て私は秘かに決心しました。それは『キンが生きているうちに佐渡に後継となる朱鷺を繁殖させよう。キンに安心してあの世に逝つてもらうためにも。そしていざれ佐渡の空を朱鷺が舞う姿を見よう』というもので

した。それからは中国からのペアの窓口となる環境庁をはじめ、中国大使館、中国外交部・林業庁などへの陳情、更に新潟県と交流の深い黒竜江省の共産党書記に前林業庁長官が就任したと聞いてお願いに行つたり、新潟―上海―西安という新たな航空路の開設を企画、「朱鷺ライン」という触れ込みで陝西省省長とタッグで運動したり、考えつくあらゆる手段を講じました。しかし、朱鷺の貰い受けは上手く行きませんでした。

それは朱鷺はパンダ同様國家第一級品の扱いだったからです。そこに気がついた私は、江沢民国家主席にお願いしようと考えま

した。幸い日中友好条約締結20周年を祝う中国国家主席の初訪日は春から秋に延期されました。訪日時に『日本国民へのプレゼントとして朱鷺のペアを!』とお願いしようと考へたのです。後はそこに辿り着く人脈を見つけることでしたが、意外に身近なところに伝手がありました。良く佐渡に遊びに来て水餃子などを造ってくれていた大学教授が江沢民さんの身辺を守る由喜貴警備局長の娘婿だというのです。早速アポを取つて貰つて由警備局長に逢いに行きました。北京空港からは局長差し回しの「紅旗」2台に分乗し、パト先導であつとう間に人民大会堂に到着しました。その日は友好条約締結20周

年のお祝いで日本から橋本龍太郎総理一行が北京を訪れており、渋滞を心配した由局長の配慮でした。経験したことのないような美味な中華料理を頂きながら、私は恐る恐るお願ひしました。それに対し局長は『それは非常に良いアイデアだ。明日早速相談するがその案で行くことになるだろう』との返事。あまりにあっさり受け入れて貰え信じられない気持ちでしたら、大きな目的を果たせた喜びで一杯でした。

を皇后陛下が強く危惧されておられたためです。翌年一月佐渡にペアが到着しました。その時の感動は一生忘れません。多くの島民と「ついに来た」喜び合いました。プレゼントされた友友と洋洋から佐渡での新たな増殖の歩みが始まりました。二〇〇三年には安心してキンはあの世に旅立ちました。何か言いたかったのか一声挙げて空に羽ばたこうとしました。これが最後でした。その後佐渡での増殖は順調に進み、二〇〇八年自然界への放鳥、二〇一二年野性下生での雛誕生、二〇一六年野性下生まれ同志のペアからも雛誕生、ここまで來ました。絶滅の危機からこの復活です。これは日中共同の朱

鷺保護事業の成功例です。知事就任時の絶滅の危機を思えば奇跡です。その後も二〇〇〇年、二〇〇七年に続き、この度の李克強首相の来日時新たな個体提供がまとまりました。日中間では共同保護計画に基づいて多くの交流が行われてきました。私には由局長のほかもう一人忘れられない人がいます。佐渡で新たな繁殖を行う時、私の強い要請で洋県の朱鷺救護飼養センターからまだ小さかった男の子を置いて佐渡に指導に来てくれた席咏梅さんです。彼女からも多くの恩義を頂きました。

嬉し涙を流しました。現在（4月22日時点）我が国には、飼育下一羽二羽、野生下二八四羽の朱鷺がありました。私が朱鷺に佐渡を中心に分散飼育などされ関わって25年余でここまで佐渡での増殖が進んだことについて、取り組んでこられた日中双方の人々の努力に敬意を表します。と共に今回開催された朱鷺国際フォーラムを高く評価します。

国の国境を越えた朱鷺保護に向
けた連携が強化されることを強
く願っています。何故なら昔、朱
鷺はこの北東アジア全域に広く
繁殖していたそうで、この美しい
鳥を多くの人々が国境を越えて
愛してきました。そして朱鷺に国
境はありません。国境を越えて飛
翔します。だから私たちが国境を
越えて連携する必要があるので
す」と・・・。
私は最後に叫びたい「朱鷺よ永遠
なれ！」と・・・。